



水島 昇 (MIZUSHIMA Noboru)

東京大学大学院医学系研究科 教授

東京医科歯科大学医学部医学科卒業、
同大学院博士課程修了。
博士 (医学)。

1991 年東京医科歯科大学医学部卒業。1996 年同大学院博士課程修了 (医学博士)。基礎生物学研究所 (大隅良典研) ポスドク・助手を経て、2004 年東京都臨床医学総合研究所室長、2006 年東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科教授、2012 年 10 月より現職。

酵母細胞を用いたオートファジーの研究を足がかりに、哺乳類のオートファジーの分子機構と生理的意義の研究へと展開。細胞が自らの一部を分解する仕組みとその生物学的意義について、多分野横断的研究を行っている。

主な受賞：日本学術振興会賞 (2008)、塚原仲晃記念賞 (2008)、井上学術賞 (2009)、日本生化学会柿内三郎記念賞 (2010)、武田医学賞受賞 (2011)、トムソン・ロイター引用栄誉賞 (2013)、読売テクノフォーラム・ゴールドメダル賞 (2014)、上原賞 (2016)、持田記念学術賞 (2016)、高峰記念第一三共賞 (2017)

主な著書：水島昇『細胞が自分を食べる オートファジーの謎』(PHP サイエンス・ワールド新書 2011 年)